

サントス日本人会バーチャル文化祭

12月2、3日19時～

彦田臨時代理大使ビデオメッセージ

皆さんこんばんは。駐ブラジル日本国大使館臨時代理大使の彦田尚毅です。

サントス日本人会バーチャル文化祭にメッセージを寄せることができ嬉しく思います。また、この困難な時期において文化祭の実施に尽力された関係者の皆さんに敬意を表します。

本日は日本の食文化、音楽、武道など様々な演目が予定されていると承知しています。ステイホームが続きますが、ご視聴の皆様には家でも楽しめるこのオンライン文化祭を大いに楽しんでいただきたいと思います。

さて、今年は新型コロナウイルスの影響で人と人とのつながりが物理的に制限されるようになりましたが、この文化祭のようにオンラインで遠方の方ともつながる機会が増えたように思います。一方で、人と人との接触が物理的に制限されたからこそ、これまでのプレゼンシャルなイベントの重要性、そして人と人をつなぐ「カイカン」の重要性が改めて認識されるようになったと思います。

サントス日本人会をはじめとする「カイカン」は、ブラジル社会で日系人同士、そして日系人と非日系ブラジル人をつなぐ重要な役割を有しています。今「カイカン」で活躍されている若い世代の皆さんは、ブラジル日系社会の未来であり、日伯間交流の将来にとって重要な財産です。「カイカン」の活動を通じ、若手日系人の皆さんが、日系社会の先輩達から日系人としてのアイデンティティやスピリットを受け継いでいかれることを期待しています。そして大使館は引き続きそうした皆さんの活動にできるかぎり協力していく所存です。

最後に、この文化祭が大いに盛り上がり、コロナ禍に引き続き立ち向かう力にもなることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)